

## 久留米大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	眼内レンズ縫着術による術後炎症の評価：多施設前向き・後向き研究 [倫理審査受付番号：第 20129 号]
研究責任者氏名	吉田茂生
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：眼内レンズ縫着術を受けた患者さん/ 診療科名等：眼科
	受診日：西暦 2019 年 1 月 1 日～2021 年 9 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ( )
研究目的・意義	今回の研究の目的は、眼内レンズ縫着術を受けられた患者さんを対象とし、その術後炎症や嚢胞様黄斑浮腫発生率に関して検討することを目的としています。眼内レンズ縫着術では眼内レンズを固定する縫着糸や眼内レンズハプティクスが常に虹彩毛様体に接着、貫通しており、虹彩毛様体炎を惹起する可能性が理論上高いと言われております。しかし、実際にその術後炎症が強いかどうかを調査する研究は今までになく、また日本全体で調査を行いたいので、兵庫医科大学を含む多施設の結果を集積して調べます。研究主管施設は兵庫医科大学になります。
研究の方法	今回の研究では、カルテによる診療情報をもとに、眼内レンズ縫着術を受けた患者さんに対して、年齢、性別、手術時間、レンズ状態、原因疾患、最高矯正視力、前房内炎症の程度、フレア値、角膜内皮数、使用眼内レンズ、網膜厚、術後所見、術後合併症の有無などを調べます。調査は久留米大学を含む多施設の共同研究で行い、全体で 200 例を対象とします。この研究に参加することで、あなたに特別な負担はありません。つまり、この研究に関わる費用については久留米大学眼科医局研究費を使用します。
外部への試料・情報の提供	本学は分担研究施設であり、主たる研究施設である兵庫医科大学へ情報提供を行います。データへは、特定の関係者以外はアクセスできません。

研究組織	<p><b>(本研究における共同研究機関および研究責任者)</b></p> <p><b>(主たる研究施設)</b></p> <p>研究責任者：兵庫医科大学眼科 主任教授 五味文 実務責任者：兵庫医科大学眼科 講師 石川裕人</p> <p><b>(分担研究施設)</b></p> <p>鹿児島大学：坂本泰二、筑波大学：岡本史樹、三重大学：近藤峰生、滋賀医科大学：大路正人、奈良医科大学：緒方奈保子、市立札幌病院：木下貴正、徳島大学：三田村佳典、福井大学：高村佳弘、東京医科大学八王子医療センター：志村雅彦、東京女子医科大学糖尿病センター：北野滋彦、防衛医科大学：竹内大、山口大学：木村和博、久留米大学：吉田茂生、愛知医科大学：瓶井資弘、神戸大学：楠原仙太郎、聖マリアンナ医科大学：高木均、日本大学板橋病院：長岡泰司。</p>
個人情報 の 取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する 連絡先	<p>診療科名等：眼科 担当者氏名：吉田茂生 [電話] (平日 9～17 時) 0942-31-7574</p>